

授業科目等の概要

分類			授業科目名		授業科目概要		令和4年度		授業方法		場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択			配当年次・学期	授業時間数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			エキゾチックアニマル学Ⅰ	犬・猫以外の小動物について適正飼育と主な疾患を理解する	1前	14		○			○		○		
○			動物園・水族館学	動物園、水族館の役割、輸送、展示、エンリッチメントについて学ぶ	1前	15		○			○		○		
○			パソコン実習Ⅰ	ワープロ、エクセルの資格取得を目指す	1後	20				○	○		○		
○			魚類学	魚類の生態管理方法、病気の対策、飼育管理方法について学ぶ	1前	24		○			○		○		
○			海辺の生態学	海産魚類の生態学、分類学についての基礎を学ぶ	1後	30		○			○			○	
○			アクアリウム実習Ⅰ	淡水魚や水草の飼育管理方法を実践で学ぶ	1通	52				○	○		○		
○			ビジネスマナーⅠ	接客・接遇の基礎、社会人としてのマナーについて学ぶ	1通	24		○			○				○
○			潜水士概論	国家資格である潜水士の取得を目指す	1後	32		○			○		○		
○			愛玩動物総論	動物愛玩飼養管理士2級の取得を目指す	1後	50		○			○		○		
○			イルカ・クジラ学	海棲哺乳類の人ととの関わり方について学ぶ	1前	17		○			○		○		
○			栄養学	食物と栄養について学び、フードのアドバイスができるように学ぶ	1後	15		○			○		○		
○			動物の体と病気Ⅰ	動物の体の構造と病気について学び、健康管理を含めたケアの方法を学ぶ	1通	27		○			○		○		
○			衛生学	愛玩動物飼養管理士のテキストに基づき、衛生学を幅広く学ぶ	1前	18		○			○		○		
○			志学Ⅰ・ヒューマンスキル	人間性・職業教育を通して、社会人としてのより良い生き方主体的に考える	1通	35		○			○		○		
○			マリン・アクアリウム実習Ⅰ	海水魚、サンゴなど海水に生息する生物の飼育管理方法を学ぶ	1通	34		○			○		○		○
○			環境調査実習Ⅰ	潮のひいた海岸で環境とそこに生息する生物の調査方法を学ぶ	1通	90				○		○	○		
○			ダイビング実習Ⅰ	ダイビング機材の扱い、実技、学科を通し、ダイビングスキルを身に着ける	1前	36				○		○	○	○	○
○			動物園実習・ペットショップ実習Ⅰ	企業での実習を通し、仕事の流れについて学ぶ	1通	42				○		○	○		
○			動物の世話管理実習Ⅰ	学校飼育動物の世話をすることで観察力・動物福祉精神を培う	1通	22				○	○		○		
○			ペットショップ概論	ペットショップの店舗形態、経営などを学ぶ	1前	15		○			○		○		
○			爬虫類学	爬虫類の生態管理方法、病気の対策、飼育管理方法について学ぶ	1後	19		○			○		○		
○			検定対策Ⅰ	各種検定の対策授業	1通	47		○			○		○		
○			就職実務Ⅰ	他スタッフとのコミュニケーションを学ぶ	1前	13		○			○		○		
○			企業実習Ⅰ	動物関連企業で実践を学び、企業内業務の補助を行う	1後	48				○		○	○		○
○			ドクタートレーニング実習	犬のしつけの基本を学ぶ	1前	12			○		○		○		

(文化・教養専門課程 動物看護・管理学科(2年制) 動物飼育・ショップビジネス専攻) 令和4年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			グルーミング実習	理論で学んだ基礎を基に用品、安全管理を実施する	1後	12			○	○		○		
○			EFR	心肺蘇生や傷の手当等エマージェンシー技術について学習する	1後	12			○	○		○		
○			特別授業	学生一人一人と向き合い、クラスのモチベーション向上を目指す	1通	139	○			○		○		
○			野生生物学	野生生物の生態や取り巻く環境等学ぶ	2前	20	○			○		○		
○			エキゾチックアニマル学Ⅱ	犬・猫以外の小動物について適正飼育と主な疾患を理解する	2前	14	○			○		○		
○			産業動物学	産業動物の種類、生体、飼育方法を学ぶ	2後	14	○			○		○		
○			志学Ⅱ	人間関係の形成を中心に、積極性、協調性など人間性を学ぶ	2前	20	○					○		
○			就職実務Ⅱ	他スタッフとのコミュニケーションを学ぶ	2通	66	○					○		
○			検定対策Ⅱ	各種検定の対策授業	2前	30	○			○		○		
○			卒業研究	専門分野について研究を行い、クラス内にて発表を行う	2通	131		○		○		○		
○			アクアリウム実習Ⅱ	個人でテーマを決め、そのテーマにあった水槽内レイアウトの仕方を学ぶ	2通	52	○			○		○		
○			英会話	ペットショップでの英会話を学ぶ	2前	17	○			○			○	
○			パソコン実習Ⅱ	ワープロ、エクセルの資格取得を目指す	2通	20				○	○	○		
○			ドルフィントレーニング概論	イルカのトレーニング、飼育方法について学ぶ	2後	34	○			○			○	○
○			マリン・アクアリウム実習Ⅱ	サンゴの株分けや無脊椎動物の飼育管理を実践で学ぶ	2通	34	○			○		○		
○			環境調査実習Ⅱ	潮のひいた海岸で環境とそこに生息する生物の調査方法を学ぶ	2通	90			○		○	○		
○			ダイビング実習Ⅱ	ダイビング機材の扱い、実技、学科を通し、ダイビングスキルを身に付ける	2前	18			○		○	○	○	○
○			動物園実習・ペットショップ実習Ⅱ	企業での実習を通し、仕事の流れについて学ぶ	2前	36			○		○			
○			動物世話と管理実習Ⅱ	動物飼育管理を通じ生体の特徴、衛生管理の学びを1年生へ指導する	2前	3			○	○		○		
○			ビジネスマナーⅡ	接客・接遇の基礎、社会人としてのマナーについて学ぶ	2前	30			○	○			○	
○			観光概論	沖縄の風土、地理、観光業について、またツアーの企画の方法を学ぶ	2後	18	○			○			○	
○			動物の体と病気Ⅱ	公衆衛生とそれに起因する疾病について学ぶ	2前	28	○			○		○		
○			企業実習Ⅱ	動物関連企業で実践を学び、企業内業務の補助を行う	2前	18			○		○			
○			特別授業	学生一人一人と向き合い、クラスのモチベーション向上を目指す	2通	130			○	○		○		
○			グルーミング実習	理論で学んだ基礎を基に用品、安全管理を実施する	2前	12			○	○		○		
合計						50科目	1,749単位時間(単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>①成績評価すべてC評価以上</p> <p>②出席状況 年間90%以上</p> <p>【履修評価】 評価は原則として科目ごとにその前期・後期終了時で其々の評価をする。 評価は、平日の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況、期末試験等によって行い、原則として絶対評価とする。</p> <p>【学業成績】 ①成績評価は原則として科目毎に前期・後期終了時に確認テスト・課題提出・科目試験・検定試験・などによって絶対評価で行い、授業態度や出席状況も加味したうえで評価する。 ②成績評価は点数によりA・B・C・Dの4段階をもってこれを表し、Dは不合格とする。ただし、D評価の学生には追試や課題提出を行い学習の機会を与える。</p> <p>【卒業】 本校に在学し、2年間の出席時間が1,700時間以上履修し、かつ、卒業基準検定を取得し成績評価がすべてC以上の者に卒業証書を授与する。</p>	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	26週